

三心を磨く

学校だより NO. 4

平成30年 4月26日(木)発行

須坂市立東中学校

文責：金井勝久(教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇ 全国学力・学習状況調査・須坂市学力調査を行いました ◇

17日(火)、全国の小学校6年生・中学校3年生が一斉で「全国学力・学習状況調査」が行われました。この全国学力・学習状況調査は2007年に始まり、今年度で12回目(2011年度は未実施)となりました。この調査の目的は、全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することで、これまでの教育の成果や課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることにあります。また、このような取組を通じて、教育に関する継続的な「検証改善サイクル」を確立するためでもあります。

今年度の全国学力学習状況調査では、「国語」・「数学」、そして「理科」の3教科が行われ、「国語」と「数学」では、主として知識に関する「A問題」と、主として活用に関する「B問題」の、2種類が出題されました。

「B問題」の「活用」とは、「知識・技能などを実生活のさまざまな場面に活用する力や、さまざまな課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる力」をみる問題です。つまり、この「活用」というのは、単なる「応用問題」とは違うというわけです。また、これと同時進行で1・2年生は、「須坂市学力調査」を行いました(3年生は、4/9に実施済)。この取組は、昨年度から始まり今年で2年目となります。全国の同年代との比較はもちろん、個人としても前年度からの「育ち」や「つまずき」を知ることができ、今後の指導に活かすことができます。昨年同様、結果が出ましたら、分析をさせていただき随時公表させていただきます。



『問題に集中して取り組む姿から』

◇ 続「美しい学校に」～下駄箱の落ち着きは授業にも現れます～ ◇

学校だより No. 3 に続き、「美しい学校に」について、その第2弾をご紹介します。



写真は4月初旬の生徒昇降口、「3年生の下駄箱」の様子です。「靴のかかと」がピシッとそろえられ、下駄箱の中に整然と並んでいます。これは昨年度から続く姿であり、いつ見てもとても気持ちの良い様子です。よく「下駄箱は、その学校の落ち着きを現す」とも言われています。今の東中学校の様子を見たとき、この言葉に間違いはありません。「靴のかかとをしっかりとそろえてから下駄箱に入れる」これにかかる時間は約3秒に過ぎません。そこに生徒の心の有り様が見えてきます。

それができるかできないかは、それを見た相手の心象や評価を大きく変えます。靴のかかとをそろえることは、至極あたり前のことです。それを「あたり前にできる」喜び、それが今、あります。

◇ 古都、奈良・京都に学んだ3年生～貴重な体験をしてきました～ ◇

18日（水）から20日（金）までの3日間、3年生は古都「奈良・京都」を訪れました。

出発時は「小雨」となりましたが、奈良に着く頃には天気は回復、2・3日目は朝から「快晴」となりました。そしてさらにこの2日間は、気温が25度を超える「夏日」となり、あまりの温かさにYシャツやブラウス姿となったり、汗だくとなったりした生徒も多くいたようです。

しかし、自分たちの力で「古都」を散策したり、移動が多かったりする修学旅行では、天気に恵まれることが何よりの幸せ、ですからこの天気は「最高の贈り物」となりました。

3日間の行程は、1日目は「奈良」を学年での見学し、2日目はタクシーを使ってグループでの



「二条城の車寄せにて…3年2組」

見学、そして最終日は「学級」での見学とバラエティーにとんだ考えられたものでした。生徒たちはこの3日間を、思い切り楽しめ、そして学べ、思い出もたくさんつくれたようです。また、この修学旅行を通して3年生は大きく成長しました。特に「時間に対する意識」に変化が見られ、「仲間と協力することの意義」も学んだようです。

実り多き修学旅行でした。例年、修学旅行を終えた3年生は「変身」「進化」します。今年の3年生もこれからの活躍が楽しみです。期待しています！



◇◇ 第1回「避難訓練」行われる！～練習だからこそより真剣に～ ◇◇

24日（火）第6校時、今年度最初の「避難訓練」が行われました。

今回の避難訓練は、4月ということもあり「基本の確認」に力を入れました。当日は雨が降ったりやんだりという天候であったため、避難場所を体育館に変更しました。消防署から見えられた島田さんのお話には、「東中の生徒の訓練には真剣さがあった」「静かに素早い移動ができた」といった生徒たちの良さがたくさんありました。また、先生方も大きな声で人員点呼を行い、生徒に負けない「真剣さ」を前面に出した訓練となりました。



学校長からは、「もしもの時、家族とどこで待ち合わせをするのか？」「いざというときの持ち出し袋の準備はできているだろうか？」といった投げかけがありました。

生徒たちは大きくうなずいていました。現在、あの東日本大震災から月日が流れ、「地震」「火災」といった事に対する備えや危機感が薄れてきていると言われます。

火災や地震、噴火、洪水、大風など、あってはほしくないことですが、「もしも…」については、常に意識しておくことが大切だと確信します。何事もない今だからこそ、ご家族で話し合われたらと思います。



「もしもの時、君はどう動くか？」